

# 行政視察報告

## 総務常任委員会

\*視察日：平成27年7月7日～9日

\*視察先：新潟県見附市

富山県氷見市 新潟県上越市

地域自治推進事業・行政と地域コミュニティの協働のまちづくりの推進について【見附市】

見附方式と呼ばれる地域コミュニティ設立の道のりは、住民説明やワークショップでの検討など、準備会の開催によりコミュニティの理念や地域が抱える課題、目指すべき将来像などを十分に話し合っており、まちづくり計画を策定し、まちづくり計画に基づいた組織の設立まで、約1年をかけていました。また、市職員がボランティアで地域サポーターとなり、住民と共に活動しながら、顔の見える関係を築き、地域と行政との協働のまちづくりを推進していました。

公共施設のリニューアル活用・旧高等学校体育館の市庁舎へのリノベーションについて【氷見市】

市庁舎の耐震診断結果が耐震強度不足であったことや庁舎が津波の浸水想

定区域にあったことなど防災面での不備など、旧市庁舎で抱えていた問題を解決するため、



廃校の高校体育館を市庁舎として有効改修（氷見市）

県立高校再編により廃校となった高校の体育館と校舎を改修し、市庁舎として有効活用しており、財政負担を抑えながら防災面での安全性と市民の利便性が図られていました。

## 地域自治区について【上越市】

全ての地域自治区に市長の附属機関である地域協議会があり、委員は、意欲のある方に手を挙げていただき、地域の皆さんから選んでいただく公募公選制に基づいて市長が選任し、任期は4年で、無報酬ということでした。

地域協議会では、概ね毎月1回のペースで、市からの諮問事項や自主的に選んだ審議事項について話し合い、諮問に対する答申や意見書の提出、地域を元気にするための事業の提案などを行い、協議会の活発な活動は、上越市の地域自治区制度の特徴の一つとなっていました。

## 建設環境常任委員会

\*視察日：平成27年8月5日～7日

\*視察先：千葉県市川市

東京都板橋区 東京都葛飾区

## 空き家対策事業について【市川市】

市川市では平成25年度に制定した「市川市空き家等の適正な管理に関する条例」に基づき、従来の対応方針を継続して実施することとしています。具体的な対応フローは、市民等からの情報提供があった空き家について実態調査を行い、所有者を特定し、管理等が不十分な「特定空き家等」と認められる場合、助言・指導、勧告、命令、公示、行政代執行といった措置を段階的に行うこととなります。相談件数は1,201件で、指導対象が606戸、うち是正されたのが277戸、解体189戸、勧告が2戸、公示として標識を設置したのが1戸、緊急安全代行措置が3戸ということでした。

## 板橋区立リサイクルプラザについて【板橋区】

リデュース・リユース・リサイクルの3Rによるごみの減量とリサイクルの推進を行っており、3Rの考え方をさらに発展させるため、「板橋かたつむ

り運動」を展開しています。「かたづけよう、<sup>㊦</sup>たいせつにつかう、<sup>㊧</sup>つかいきる、<sup>㊨</sup>むだにしない、<sup>㊩</sup>りさいくる」の「かたつむりのおやくそく運動」により、ごみの減量・リサイクルに繋げていこうという思いで取り組んでいました。

## 戸籍住民課窓口サービスの改善について【葛飾区】

戸籍住民課の窓口サービス改善の取り組みは、段階的に取扱い業務を拡大しており現在は住所異動に伴う国民健康保険、介護保険などの他課所管業務のほか、税証明書の交付や転入に伴う入学手続き、児童手当の申請、乳児医療証の交付申請等の18業務を取扱っているとのこと。対応はひとつの窓口につき、ひとりの職員が担当しているとのことであり、フロアに案内係であるフロアマネージャーを配置し、窓口案内や申請書記入の補助を行っていました。



戸籍住民課窓口サービス改善の取組み（葛飾区）